

稲沢市
循環型社会形成推進地域計画

稲沢市

令和 2 年 11 月 27 日 作成

令和 4 年 1 月 7 日 変更

令和 4 年 12 月 9 日 変更

地 域 計 画 目 次

1. 地域の循環型社会形成を推進するための基本的な事項.....	1
2. 循環型社会形成のための現状と目標.....	2
3. 施設の内容.....	3
4. 計画のフォローアップと事後評価	5
様式 1	6
様式 2	9
【参考資料様式 6】	10
【参考資料様式 7】	11
【参考資料様式 8】	12
【添付資料 1：人口等指標のトレンドグラフ】	13
【添付資料 2：浄化槽整備区域図】	14
【添付資料 3：地域内の施設の現況と予定（位置図）】	15
【添付資料 4：洪水ハザードマップ】	16
【添付資料 5：国土強靱化計画】	17

1. 地域の循環型社会形成を推進するための基本的な事項

(1) 対象地域

構成市名：稲沢市

面積：79.35km²

人口：136,467人（令和2年4月1日現在）

(2) 計画期間

本計画は、令和3年4月1日から令和8年3月31日までの5年間を計画期間とする。

なお、目標の達成状況や社会経済情勢の変化等を踏まえ、必要な場合には計画を見直すものとする。

(3) 基本的な方向

本市は、愛知県の西部、伊勢湾に流下する木曾川等の堆積層である濃尾平野のほぼ中央に位置する。また、内陸型の温暖な気候であり、降雨は比較的多いが、降雪は少ない。地質的には、沖積層で地味肥沃であり、気候的にも恵まれ、植木・苗木・盆栽の生産、野菜等の栽培に適した条件を備えており、大都市近郊に位置しながら、水と緑に恵まれている。

生活排水処理対策としては、本市の特性に合わせ公共下水道、農業集落排水処理施設及び合併処理浄化槽で整備を進め、生活環境の改善及び汚水の適正処理を行っていくものとする。

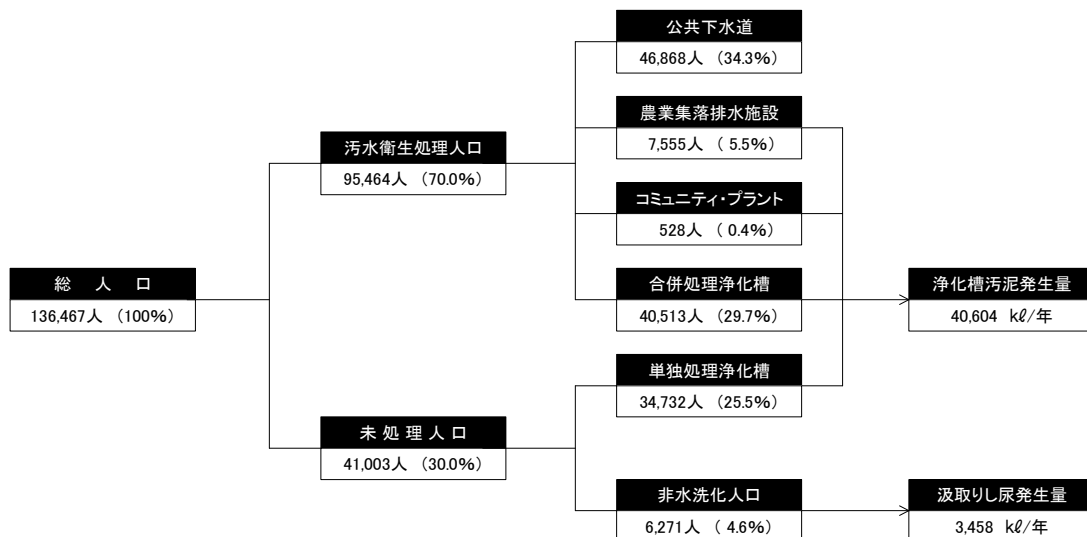
(4) 広域処理の検討状況

稲沢市平和浄化センターでは、本市から発生するし尿、浄化槽汚泥を単独処理しており、今後も現状の処理体制を維持していく。

2. 循環型社会形成推進のための現状と目標

(1) 生活排水の処理の現状

令和元年度の生活排水の処理状況及びし尿・浄化槽汚泥等の発生量は図 1 に示すとおりである。



※汚水衛生処理人口：汚水処理施設に接続されている人口。
 ※四捨五入の関係で 100%にならない場合がある。

図 1 生活排水の処理状況フロー [令和元年度]

(2) 生活排水の処理の目標

生活排水処理については、表 1 に掲げるとおり、合併処理浄化槽の整備等を進めていくものとする。

表 1 生活排水処理に関する現状と目標

		令和元年度実績	令和8年度目標
処理形態別人口	公共下水道	46,868人 (34.3%)	52,798人 (40.9%)
	農業集落排水施設	7,555人 (5.5%)	7,151人 (5.5%)
	コミュニティ・プラント	528人 (0.4%)	502人 (0.4%)
	合併処理浄化槽	40,513人 (29.7%)	39,941人 (30.9%)
	未処理人口	41,003人 (30.0%)	28,775人 (22.3%)
	合計	136,467人	129,167人
し尿・汚泥の量	汲み取りし尿量	3,458 kl	2,519 kl
	浄化槽汚泥量	40,604 kl	36,135 kl
	合計	44,062 kl	38,654 kl

※四捨五入の関係で 100%にならない場合がある。

3. 施策の内容

(1) 広報・啓発活動

ア 生活排水対策

生活排水対策の必要性、浄化槽管理の重要性、家庭でできる排水対策等について住民に周知を図るため、定期的な広報・啓発活動を実施する。また、浄化槽については、定期的な保守点検、清掃及び法定検査について、広報等を通じて、その徹底に努めるものとする。

(2) 処理体制

ア 生活排水処理の現状と今後

公共下水道による生活排水処理を基本とし、その計画的整備と接続の推進に努めると共に、公共下水道等の整備が当分の間見込まれない地域については、合併処理浄化槽の整備を進めていく。

また、し尿・浄化槽汚泥の処理については、現在は、し尿処理施設において処理後、生じた汚泥は焼却しているが、今後は、汚泥再生処理センターとして整備することで、発生する汚泥を資源化し、資源の有効活用を決める。

(3) 処理施設等の整備

ア 廃棄物処理施設

上記(2)の処理体制で処理を行うため、表2に示すとおり必要な施設整備を行う。

表2 整備する処理施設

事業番号	整備施設種類	事業名	処理能力	設置予定地	事業期間	国土強靱化
1	汚泥再生処理センター (仮称) 稲沢市汚泥再生 処理センター	稲沢市有機性廃棄物リ サイクル推進施設整備 事業	128 kℓ/日	愛知県稲沢市 平和町須ヶ谷 本田 101 番地 1	令和5～ 令和7年度	—

(整備理由)

事業番号1 稲沢市平和浄化センターの老朽化、し尿処理汚泥の再生利用促進

イ 合併処理浄化槽の整備

合併処理浄化槽の整備については、表3に示すとおり行う。

表3 合併処理浄化槽への移行計画

事業	直近の整備済基数 (基) (令和元年度)	整備計画基数 (基)	整備計画 人口 (人)	事業期間	国土強靱化
浄化槽設置整備事業	3,874	911	5,439	令和3～ 令和7年度	稲沢市地域 強靱化計画

(4) 施設整備に関する計画支援事業

(3) の施設整備に先立ち、表 4 に示すとおり計画支援事業を行う。

表 4 実施する計画支援事業

事業番号	事業名	事業内容	事業期間
1	稲沢市有機性廃棄物リサイクル推進施設整備 (事業番号 1) に係る施設基本設計等調査事業	施設基本設計等事業	令和 3 年度
1	稲沢市有機性廃棄物リサイクル推進施設整備 (事業番号 1) に係る工事発注支援等事業	工事発注支援等事業	令和 4 年度
1	稲沢市有機性廃棄物リサイクル推進施設整備 (事業番号 1) に係る生活環境影響調査事業	生活環境影響 調査事業	令和 4 年度

(5) その他の施策

その他、地域の循環型社会を形成する上で、次の施策を実施していく。

ア 災害時の廃棄物処理に関する事項

震災や水害等が発生した場合、道路の通行不能や施設の破損等により、平常時と同じような収集・運搬や処理、処分の対応が困難となることが想定される。

そのため、稲沢市地域防災計画を踏まえ、災害時に発生するし尿等の処理体制の確保を図るため、近隣市町及び民間事業等との連携体制を強化する。

4. 計画のフォローアップと事後評価

(1) 計画のフォローアップ

本市は、毎年、計画の進捗状況を把握し、その結果を公表するとともに、必要に応じて、県及び国と意見交換をしつつ、計画の進捗状況を勘案し、計画の見直しを行う。

(2) 事後評価及び計画の見直し

計画期間終了後、処理状況の把握を行い、その結果が取りまとまった時点で、速やかに計画の事後評価、目標達成状況の評価を行う。

また、評価の結果を公表するとともに、評価結果を次期計画策定に反映させるものとする。

なお、計画の進捗状況や社会経済情勢の変化等を踏まえ、必要に応じ計画を見直すものとする。

循環型社会形成推進交付金等事業実施計画 総括表 1

1 地域の概要

(1) 地域名	稲沢市	(2) 地域内人口	136,467人	(3) 地域面積	79.35km ²
(4) 構成市町村等名	稲沢市	(5) 地域の要件*	人口 面積 沖縄 離島 奄美 豪雪、山村 半島 過疎 その他		
(6) 構成市町村に一部事務組合等が含まれる場合、当該組合の状況	組合を構成する市町村： 日設立、認可予定 設立されていない場合、今後の見通し：				設立（予定）年月日： 年 月

※ 別添資料として既設の位置図を添付した。（添付資料 4）

2. 一般廃棄物の減量化、再生利用の現状と目標

指標・単位 年		過去の状況・現状（排出量等に対する割合）					目標	
		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和7年度
排出量	事業系 総排出量（トン）							
	1事業所当たりの排出量（トン/事業所）							
	生活系 総排出量（トン）							
	1人当たりの排出量（kg/人）							
合計	事業系生活系の総排出量合計（トン）							
再生利用量	直接資源化量（トン）							
	総資源化量（トン）							
エネルギー回収量	エネルギー回収量 （年間の発電電力量 MWh）							
	エネルギー回収量 （年間の熱利用量 GJ）							
減量化量	減量化量（中間処理前後の差 トン）							
最終処分量	埋立最終処分量（トン）							

※ 別添資料として指標と人口等の要因に関するトレンドグラフを添付する。

一般廃棄物処理計画と目標値が異なる場合に、地域計画と一般廃棄物処理計画との整合性に配慮した内容

様式 1

3 一般廃棄物処理施設の現況と更新、廃止、新設の予定

(1) 現有施設リスト

施設種別	施設名	事業主体	型式及び処理方式	処理能力(単位)	竣工年月	廃止又は休止(予定)年月	解体(予定)年月	想定される浸水深と対策	備考
し尿処理施設	稲沢市平和浄化センター	稲沢市	高速酸化処理方式	120kℓ/日	S48.3	R8.3	検討中	現況施設の想定浸水深(0.5m~3m未満の区域)となっており、対策としては、現況施設は約50年前の施設であるため災害対策は難しく、万が一、災害により現況施設での処理が困難な場合や処理能力が不足する場合は、相互応援協定により他の自治体に応援を要請し、廃棄物処理を継続します。	
			高速酸化処理方式	50kℓ/日	S50.9	R8.4	検討中		
			凝集沈殿処理方式	三次処理	S56.7	R8.5	検討中		

(2) 更新(改良)・新設施設リスト

施設種別	施設名	事業主体	型式及び処理方式	処理能力(単位)	竣工予定年月	更新(改良)・新設理由	廃焼却施設解体の有無 (解体施設の名称)	廃焼却施設解体事業 着手(予定)年月 完了(予定)年月	想定される浸水深 と対策	プラスチック再商品化 を実施するための施設 整備事業	備考
汚泥再生処理 センター	(仮称) 稲沢市汚泥再生 処理センター	稲沢市	検討中	128kℓ/日	R8.4	資源化のため更新	無	—	想定浸水深(0.5m~3m未満) 主要設備、電気室は2階に設置、重要な扉には水密性の高い扉(防水扉)の採用などを検討中。	—	

様式 1

4 生活排水処理の現状と目標

指標・単位		年度	過去の状況・現状					目標	
			平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和8年度
総人口			137,906	137,692	137,154	136,915	136,467	135,941	129,167
公共下水道	汚水衛生処理人口		42,817	44,022	44,636	45,770	46,868	47,572	52,798
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率		31.1	32.0	32.5	33.4	34.3	35.0	40.9
集落排水施設等	汚水衛生処理人口		7,966	7,823	7,706	7,651	7,555	7,448	7,151
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率		5.8	5.7	5.6	5.6	5.5	5.5	5.5
コミュニティ・プラント	汚水衛生処理人口		558	557	560	541	528	513	502
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率		0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4
合併処理浄化槽等	汚水衛生処理人口		40,130	37,306	38,691	40,039	40,513	43,061	39,941
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率		29.1	27.1	28.2	29.2	29.7	31.7	30.9
未処理人口	汚水衛生処理人口		46,435	47,984	45,561	42,914	41,003	37,347	28,775

※別添資料として指標と人口等の要因に関するトレンドグラフを添付した。(添付資料1)

5 浄化槽の整備の状況と更新、廃止、新設の予定

施設種別	事業主体	現有施設の内容			整備予定基数の内容			備考
		基数	処理人口	開始年月	基数	処理人口	目標年次	
浄化槽設置整備事業	稲沢市	3,874	26,002	H1.4	911	5,439	R8	

※計画地域内の施設の状況（現況、予定）を地図上に示したものを添付した。(添付資料2)

循環型社会形成推進交付金等事業実施計画総括表2

事業種別	事業番号	事業主体名称	規模		事業期間		総事業費(千円)					交付対象事業費(千円)					備考			
			単位		開始	終了	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度				
○し尿処理に関する事業																				
	1	稲沢市	128	kℓ/日	R5	R7	4,610,000			263,000	857,000	3,490,000	3,426,042			249,942	616,500	2,559,600		
○浄化槽に関する事業																				
	2	稲沢市	911	基	R3	R7	289,013	57,643	57,595	57,925	57,925	57,925	286,073	54,703	57,595	57,925	57,925	57,925	57,925	
○施設整備に関する計画支援事業																				
	1	稲沢市			R3	R3	8,910	8,910					8,700	8,700						
	1	稲沢市			R4	R4	4,939		4,939				4,939		4,939					
	1	稲沢市			R4	R4	8,030		8,030				8,030		8,030					
合計							4,920,892	66,553	70,564	320,925	914,925	3,547,925	3,733,784	63,403	70,564	307,867	674,425	2,617,525		

施設概要（し尿処理施設系）

都道府県名 愛知県

(1) 事業主体名	稲沢市
(2) 施設名称	(仮称) 稲沢市汚泥再生処理センター
(3) 工期	令和5年度～令和7年度
(4) 施設規模	処理能力 128 kℓ/日
(5) 形式及び処理方式	検討中
(6) 地域計画内の役割	本市から発生するし尿、浄化槽汚泥等の資源化をすることで循環型社会の形成に寄与する。
(7) 廃焼却施設解体 工事の有無	有 <input checked="" type="radio"/>

「汚泥再生処理センター」を整備する場合

(8) 資源化の方法	助燃剤化
(9) 資源化物の利用計画	稲沢市環境センター（ごみ焼却施設）で有効利用

「コミュニティ・プラント」を整備する場合

(10) 計画処理人口及び 面積	人口 人 面積 m ²
(11) 計画地域の性格	

(12) 総事業計画額	4,610,000 千円 うち、交付対象事業費 3,426,042 千円
-------------	---

施設概要（浄化槽系）

都道府県名 愛知県

(1) 事業主体名	稲沢市
(2) 事業名称	浄化槽設置整備事業
(3) 事業の実施目的及び内容	生活排水を適切に処理し、河川の水質浄化を図るため、合併処理浄化槽を住宅に設置する者を対象に補助を実施する。
(4) 事業期間	令和3年度～令和7年度
(5) 事業対象地域の要件	<input type="checkbox"/> 人口 <input type="checkbox"/> 面積 沖縄 離島 奄美 豪雪 山村 半島 過疎 その他
(6) 事業計画額	交付対象事業費 286,073千円 うち ・環境配慮・防災まちづくり浄化槽整備推進事業に係る事業費 280,841千円 ・公的施設単独処理浄化槽集中転換事業に係る事業費 0千円

○ 事業計画額の内訳及び浄化槽の整備規模

【浄化槽設置整備事業の場合】

区分	交付対象基数 (5,439人分)	基準額合計	総事業費	交付対象 事業費
5人槽	541基 (2,705人分)	200,868千円	106,848千円	106,848千円
6～7人槽	322基 (2,254人分)	150,330千円	91,935千円	91,935千円
8～10人槽	48基 (480人分)	28,218千円	16,400千円	16,400千円
11～20人槽	基 (人分)	—	—	—
21～30人槽	基 (人分)	—	—	—
31～50人槽	基 (人分)	—	—	—
51人槽以上	基 (人分)	—	—	—
宅内配管費	181基	54,300千円	54,300千円	51,900千円
撤去費	203基	20,970千円	19,530千円	18,990千円
雨水貯留槽 等再利用	基	—	—	—
改築費（災害）	基	—	—	—
改築費（長 寿命化）	基	—	—	—
浄化槽整備 効率化事業費	台帳作成費	—	—	—
	計画策定等調査費	—	—	—
	効果的な転換促進及び管理適正化推進費	—	—	—
合計	911基 (5,439人分) ※基数の合計には、宅内配管 費、撤去費、改築費を除く。	454,686千円	289,013千円	286,073千円

※基数の合計には、宅内配管費、撤去費、改築費を除く。

計画支援概要

都道府県名 愛知県

(1)	事業主体名	稲沢市		
(2)	事業目的	稲沢市有機性廃棄物リサイクル推進施設整備のため		
(3)	事業名称	稲沢市有機性廃棄物リサイクル推進施設整備に係る施設基本設計等策定事業	稲沢市有機性廃棄物リサイクル推進施設整備に係る工事発注支援事業	稲沢市有機性廃棄物リサイクル推進施設整備に係る生活環境影響調査事業
(4)	事業期間	令和 3 年度	令和 4 年度	令和 4 年度
(5)	事業概要	有機性廃棄物リサイクル推進施設整備を実施するにあたり、施設基本設計策定を行う。	有機性廃棄物リサイクル推進施設整備を実施するにあたり、発注支援等を行う。	有機性廃棄物リサイクル推進施設整備を実施するにあたり、生活環境影響調査を行う。
(6)	総事業計画額	8,910 千円 うち、交付対象事業費 8,700 千円	8,030 千円 うち、交付対象事業費 8,030 千円	4,939 千円 うち、交付対象事業費 4,939 千円

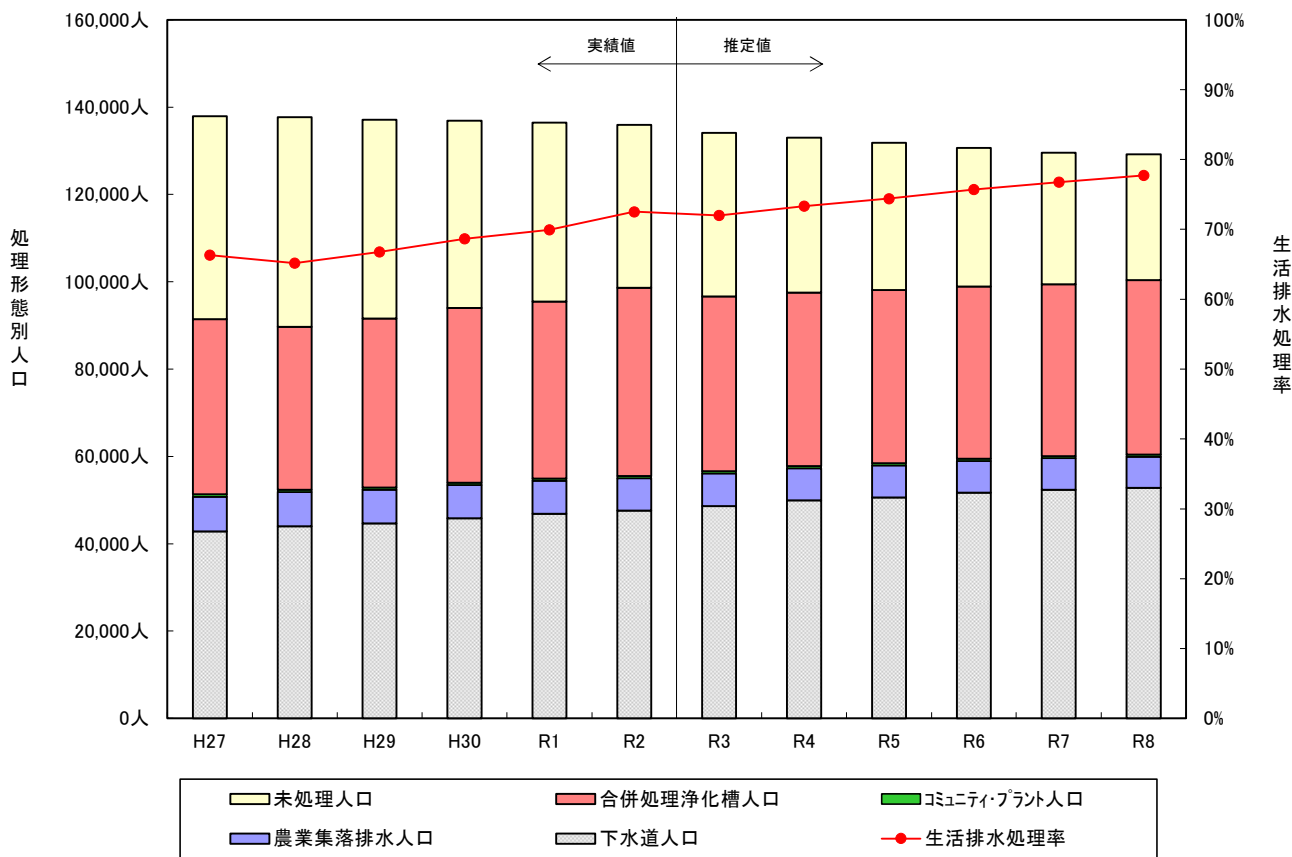
【添付資料1：人口等指標のトレンドグラフ】

生活排水処理形態別人口のトレンドグラフを資料表-1、資料図-1に示す。

資料表-1 生活排水処理形態別人口実績

(単位：人)

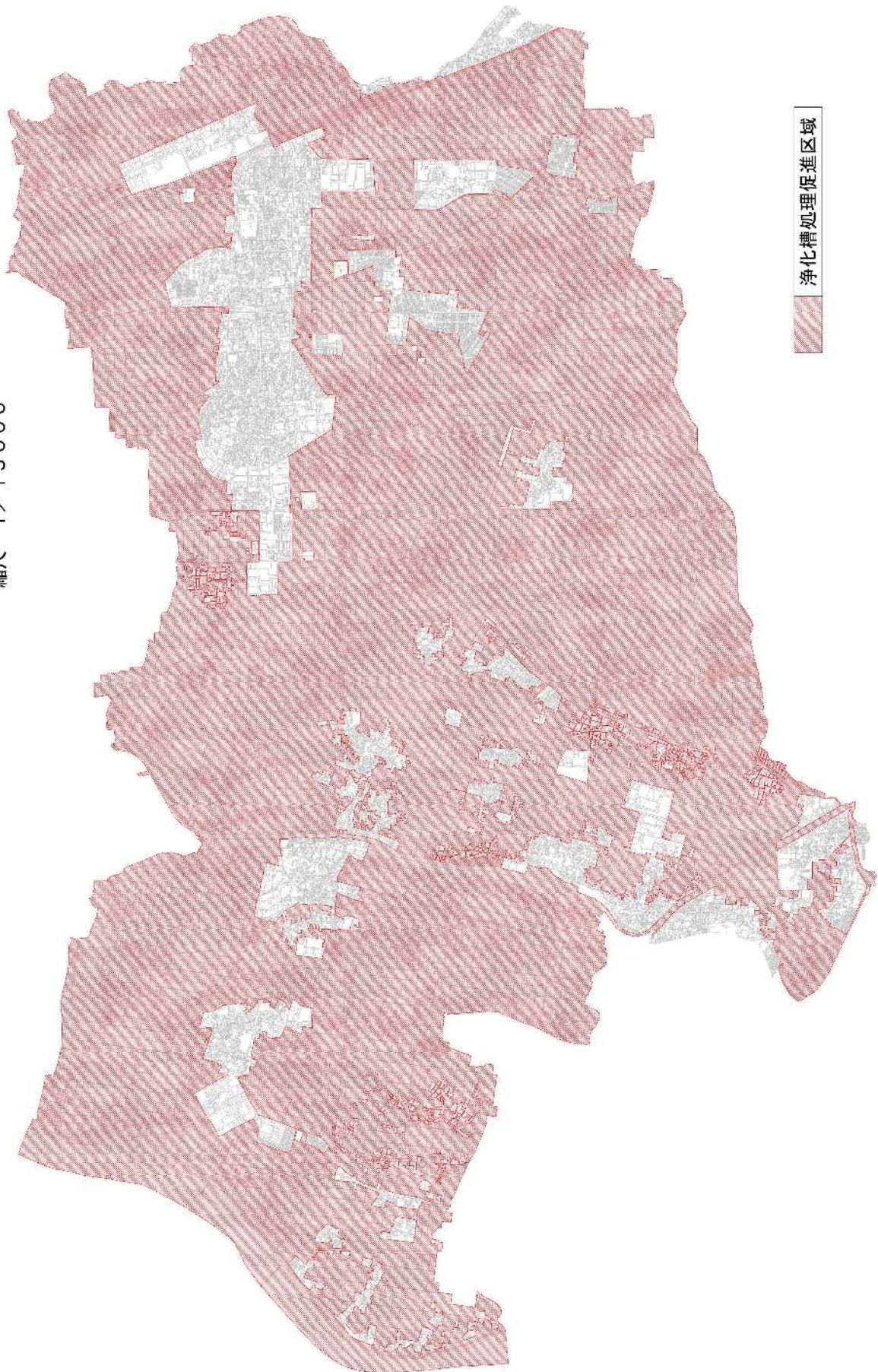
	H27	H28	H29	H30	R1	R2	R3	R4	R5	R6	R7	R8
人口	137,906	137,692	137,154	136,915	136,467	135,941	134,153	132,996	131,839	130,682	129,523	129,167
下水道人口	42,817	44,022	44,636	45,770	46,868	47,572	48,634	49,943	50,592	51,723	52,391	52,798
農業集落排水人口	7,966	7,823	7,706	7,651	7,555	7,448	7,427	7,363	7,299	7,235	7,171	7,151
コミュニティプラント人口	558	557	560	541	528	513	520	516	512	508	503	502
合併処理浄化槽人口	40,130	37,306	38,691	40,039	40,513	43,061	40,003	39,696	39,711	39,441	39,404	39,941
未処理人口	46,435	47,984	45,561	42,914	41,003	37,347	37,569	35,478	33,725	31,775	30,054	28,775
生活排水処理率	66.3%	65.2%	66.8%	68.7%	70.0%	72.5%	72.0%	73.3%	74.4%	75.7%	76.8%	77.7%



資料図-1 生活排水処理形態別人口トレンドグラフ

浄化槽処理促進区域 (稲沢市)

縮尺 1/15000



【添付資料3：地域内の施設の現況と予定（位置図）】



【添付資料4：洪水ハザードマップ】



【添付資料 5 : 国土強靱化計画】

汚水処理施設等の長期期間にわたる機能停止

○合併処理浄化槽の設置補助による生活環境の保全

下水道区域外では、合併処理浄化槽の設置補助を進めることにより、良好な生活環境の保全を図る。

出典：稲沢市地域強靱化計画（令和3年2月策定）